

市立小樽文学館企画展

聖樹のパン

—— 小樽のパンから広がる世界! ——

2021年

4月3日(土)

5月5日(水・祝)

休館日:毎週月曜日(5月3日を除く)、4月30日(金)

入館料:300円(高校生・市内高齢者150円)

主催・会場:市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 tel.0134-32-2388

後援:小樽文学舎



協力:スクウェア・エニックス、小樽商科大学
小樽観光協会、小樽アニメパーティー

『聖樹のパン』とは?——

『ヤングガンガン』誌上で2015年8月から連載開始されたコミックで、現在も連載中です。腕は抜群なのに自分に自信がないパン職人の青年・ほしの聖樹が、小樽のベーカリーペンションで働くことになり、美味しいパンで人々を幸せにするうちに、次第に自信を取り戻し、成長してゆくというハートフルストーリーです。

原作者の山花典之先生は小樽市出身。物語の舞台である小樽の描写は、単なるご当地マンガの域を超えリアリティに裏打ちされています。また、たかはし慶行先生の筆による作画も、何気ない街並みや風景に至るまで、小樽の空気感を的確に再現しています。



©2021 Noriyuki Yamahana, Yoshiyuki Takahashi/SQUARE ENIX

主な展示資料

- ・『聖樹のパン』扉絵等原画
- ・『聖樹のパン』ネーム稿
および原案草稿
- ・たかはし慶行先生直筆
『聖樹のパン』色紙
- ・山花典之先生直筆イラスト

- ・小樽のパン屋・パン製造業
年表
- ・小樽のパン屋紹介パネル

ほか

このたびの展示では、山花先生から小樽文学館にご寄贈いただいた原画25点、ならびに小樽図書館にご寄贈いただいた貴重なネーム稿や原案草稿を中心に『聖樹のパン』の世界をご紹介します。

また、小樽は実際にも、古くからパン屋さんが沢山あることで知られた街。展示では、小林多喜二も少年の頃に手伝った、多喜二の伯父さん創立のパン店〈小林三星堂〉をはじめ、小樽のパン屋・ベーカリーの歴史についてご紹介します。さらに、現在小樽で頑張っている、数多くの個性豊かなパン屋さんの情報も満載です!



市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5
(日本銀行旧小樽支店金融資料館向かい)
Tel&Fax (0134) 32-2388

開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

料金 一般300円 高校生および市内高齢者150円 中学生以下無料